

各種補助金のご案内

○ いわきでの開業をお考えの方 ～診療所開設支援事業をご活用ください～

市外の医師等が、市内に診療所を開設する費用の一部を補助します。

【補助の対象】

- (1) 直近3か月に主たる勤務先として市内の医療機関に勤務をしていない医師
- (2) 市内に診療所開設した後、継続して10年以上診療する見込みがあること
- (3) いわき市医師会に加入し、積極的に在宅医療を含む地域医療に貢献すること
- (4) 休日夜間急病診療所における診療や在宅当番医制事業に協力すること
- (5) 市が行う医療・保健・福祉事業に協力すること
- (6) 承継の場合、譲渡人と譲受人が2親等以内の親族を除く

【補助対象経費】

土地取得経費、建物の新設・取得・改修・拡張に係る経費、機器の購入経費

【補助額】

1診療所につき、補助対象経費に係る額の3分の2以内
上限2,000万円（産婦人科、産科、小児科は上限3,000万円）

○ 小児科等特定の診療科*の新規開設、再開をお考えの方 ～医療提供体制支援事業をご活用ください～

市内で、特定の診療科*を新規開設又は再開する場合補助金を交付します。

【補助の対象】

市内の病院、診療所を運営する法人等

【補助対象経費】

施設の新設・改修に要する経費、機器の購入経費

【補助額】

250万円上限

※ 特定の診療科とは

- ・ 病院の場合：神経内科、小児科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科（産科）、麻酔科
- ・ 診療所の場合：産婦人科（産科）、神経内科及び小児科

*在宅当番医等の一次救急医療を提供し、かつ二次救急医療を提供する病院の診療を応援することが条件

興味がある方は、地域医療課まで御連絡下さい！

【いわき医療ふるさと便 発行元（お問合せ先）】

〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田191 いわき市 保健福祉部 地域医療課
TEL：0246-27-8572 FAX：0246-27-8573 Mail：chiikiiry@city.iwaki.lg.jp

住所（送付先）の変更やメール送信を希望される場合は、ご連絡をお願いします。

いわき医療ふるさと便

いわき市 保健福祉部
地域医療課
令和2年8月号

いわきの医療の
「いま」をお届けします！



まだまだ残暑が厳しい中、いかがお過ごしでしょうか。
新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない大変厳しい状況の中、医療に従事される皆様には、心より敬意と感謝を表します。
今回のいわき医療ふるさと便では、新型コロナにかかる市の対策状況を中心に
お伝えします。

いわき市における新型コロナウイルス感染状況

いわき市では、8月30日（日）時点で20例の陽性患者が確認されています。
首都圏をはじめとして、全国各地で感染が拡大する中、県内においても、陽性患者の確認が相次いでおり、本市では、6月と7月は陽性患者が確認されませんでした。8月に5人の陽性患者が確認されており、引き続き警戒が必要な状況にあります。

【月別発生件数】

（単位：件）

3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
1	11	3	0	0	5	20

【入院者数等】

現在入院中 1人
死亡 0人

【年代別・男女別集計】

（単位：人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男	2	1	4	2	3	2	1	0	0	15
女	1	0	0	1	0	2	0	0	1	5
合計	3	1	4	3	3	4	1	0	1	20

【PCR検査件数】

（単位：件）

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
14	70	352	161	79	139	343	1,158

新型コロナウイルス対策に係る医療関係者への支援①

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、市でも様々な取り組みを行っていますが、特に、医療関係者に向けた取り組みについて紹介します。

○「新型コロナに負けないプロジェクトチーム」の設置、医療資器材の確保に向けた活動

医療提供体制の充実や医療資器材の確保、市民の不活発化防止対策に取り組むプロジェクトチームを設置しました。

【医療機関等への資器材提供活動】

資器材	配布数	配布団体等
N95、KN95マスク	2,840枚	市内病院等
不織布、布マスク	372,453枚	市内病院、診療所、歯科診療所等
手指消毒液	5,000本 _(500ml換算)	市内病院、診療所、介護事業所等
フェイスシールド	18,900枚	市内病院、診療所、歯科診療所等
医療用ガウン、ビニールエプロン	63,523着	市内病院等

○ クラップ・フォー・ケアラーズの取り組み

厳しい環境で、日々、治療や対策に当たっている医療従事者の皆様に、敬意と感謝の気持ちを伝えるため、毎週 金曜日の正午から30秒間、拍手を送っています。



○ 医療従事者への宿泊所提供

家族への新型コロナウイルス感染を不安視する医療従事者の皆様を支えるため、いわき市健康・福祉プラザ（いわきゆったり館）の宿泊施設を無料でご利用いただきました。

実施期間：4/21（火）～6/9（火）



○「いわき市地域医療を守り育てる応援基金」の設置

感染の第2波、第3波に備えるとともに、地域医療を守り育てる施策や、感染症のまん延防止のための施策を推進するための財源として、本年8月に基金を設置しました。

篤志家の方や企業より新型コロナウイルス感染症対策に充てるためとしてご寄附いただいた寄附金等を活用することとしております。

新型コロナウイルス対策に係る医療関係者への支援②

○「発熱外来」の設置

発熱患者のうち、新型コロナウイルスへの感染リスクが低い患者やかかりつけ医を持たない患者を診察することにより、感染の拡大を防ぐとともに、本市の地域医療体制の維持を図るため、発熱外来を設置しました。



設置場所：市休日夜間急病診療所
(いわき市内郷高坂町四方木田191)

設置期間：4/28（火）～7/31（金）

※ 現在休止中。市内でクラスター感染が発生するなど、感染の拡大が確認された場合などに再開を検討します。

発熱外来受診実績：157名

○「いわき市PCR専門検査センター」の設置

濃厚接触者の検査などPCR検査を集中的に実施することで、本市の検査体制を拡充し、感染の防止拡大につなげるため、いわき市PCR専門検査センターを設置しました。

設置場所：市内医療機関内（非公開）

業務内容：一般医療機関、市保健所等からのPCR検査予約の受付・調整等を行うとともに、検体採取等を実施します。

開設期間：8月7日（金）から予約開始(連携医療機関からの予約受付のみ)

トピックス 「いわき震災伝承みらい館」が開館！

東日本大震災の記憶や教訓を風化させず、確実に後世へと伝えていくことにより、災害に対する意識の醸成等を図っていくことを目的とした、「いわき震災伝承みらい館」が、5月30日（土）に開館しました。

当時の状況や復興に向けた取組みの様子を伝える、震災関連資料を展示・公開しているほか、旧豊間中学校の校舎と、校舎を襲う津波をVRで体験することができます。

いわきにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。



所在地：いわき市薄磯3丁目11
開館時間：9時～17時
休館日：月曜日及び年末年始
入館料：無料